

1 本校のOJT

- OJTは「教育目標の具現化を図るもの」と位置付ける。
- 校内研修（現職教育）としてグループ研修を実施する。
 - ・ 教員相互に学び合い、高めあうグループ研修を通して教師力の向上を図り、学校教育活動の質を高める。

ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは研究主任。
- 教職員一人一人の意識や力量の向上を目指す。
 - ・ 教職員一人一人が培ってきたノウハウの交換、及び若手教員やミドルリーダーの育成を目指した研修となるようにグループを編成し、方法を提示する。
- 日常の指導の意義や意味を見つめ直し、視点や方法を広げる場とする。
 - ・ 教職員が、「なるほど」「今度やってみよう」「勉強になった」と感じることができるよう研修テーマを設定する。
- 互いに学び合う教師、学び続ける教師を目指す上での第一歩にする。
 - ・ 互いに学び合う大切さを実感できるようにするため、年間指導計画にグループ研修を位置づけ、忙しい中でも計画通り必ず実施する。

学び合いの意識化

- 日常の指導場面からのテーマ設定
 - ・ 若手からベテランまでが課題意識を持って研修に参加できるようにする。
- 他の教職員が培ってきたノウハウを誰でも学ぶことができるようにする。
 - ・ テーマに関する資料（レポート）を教職員共有フォルダーに保存し、自由に閲覧できるようにする。
- 「振り返りシート」の活用
 - ・ 「振り返りシート」でグループ研修後に一人一人が研修を振り返り、研修内容の生かし方や研修を通して学んだ視点や方法について意識化を図る。